

繰り下がりのある引き算 (くりさがりのひっさん) やり方と書き方

引き算のひっ算で、ふたつの数を引くとき、もしも引く数の「一の位の数」が、引かれる数の「一の位の数」よりもおおきかったら どうすればいいのかな？

くりさがりとは

「くりあがりのある たし算」の がくしゅうをしたのは おぼえて いるかな。

「くりあがり」というのは、たし算をしたときに 10のかたまりが作れたら、一の位から十の位に1つおくって、「レベルアップする」ようなイメージだったよね。

では「くりさがり」は なにかというと、「レベルが上の数に、たすけてもらおう」イメージ。

引き算では、たとえば「 $5 - 8$ 」のように、小さい数から大きい数を引くことは できないよね。だって、5このアメが あるときに、8こも たべてしまうことは できないからね。

ひとけたの引き算だったら そうだけど、ふたけたの引き算だと そうもいえないんだ。

たとえば「 $47 - 18$ 」という引き算をするとするよ。



47は18よりも大きいから、引くことはできるけれど、一の位を計算しようとする、 $7-8$ という計算になっちゃうね。

このように、ふたけたの数の引き算でひっ算をするときに、一の位だけをみると、小さい数から大きい数を引く計算が出てきてしまうことがあるんだ。

このままでは一の位で、いきなり「計算ができない」とつまづいてしまうよね。

それが、「くりさがり」をすれば計算ができるようになるんだよ。

「くりさがり」は、十の位から1つ分だけもらってくるというほうほうなんだ。

だから、「レベルが上の数にたすけてもらう」イメージということなんだね。

まずは、どんなときにくりさがりをかんがえるかみてみよう。

もんだい

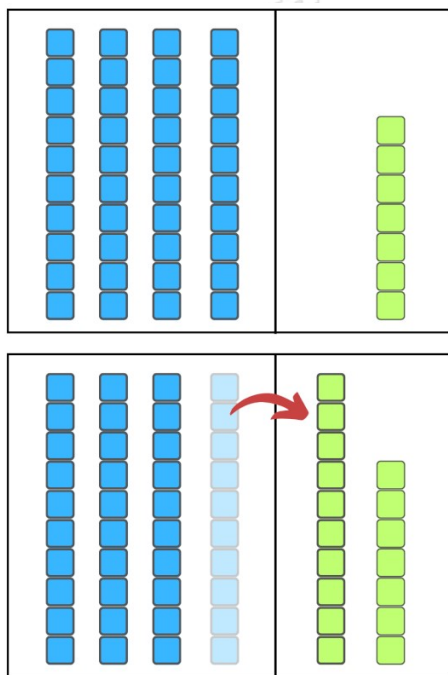
- ・ $47-18$ を計算しましょう。

計算のじゅんばんは、一の位からだから、「 $7-8$ 」からだね。でも、「 $7-8$ って、できないよ・・・」ってなるよね。



十の位から「10のかたまり」を1つもらってこよう！

一の位の引き算が できないので、十の位から「10のかたまり」を 1つ分だけもらってこよう。



$$\begin{array}{r} 47 \\ - 18 \\ \hline \end{array}$$

一の位の引き算が
できないので、
くり下げる。

これを 「くりさがり」と 言うよ。

十の位からひとつ分だけ もらってくると、一の位はもとの「7」と、もらってきた「10」で、「17」になるね。

すると、一の位の計算は、「17-8」という引き算に なったよ。
これなら、計算できそうだね。

一の位の計算は「17-8=9」



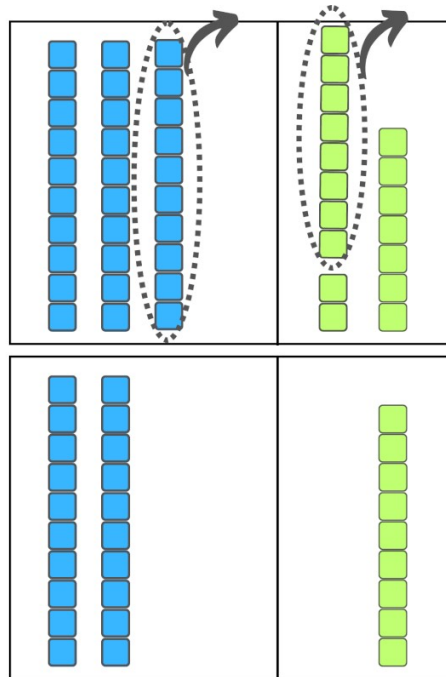
十の位の計算をしよう

つぎに、十の位の引き算をするよ。

「くりさがり」をしたので、十の位は、「10のかたまり」を一の位に1つ分あげてしまっているよね。

だから、4つ あった「10のかたまり」は 3つに なっているから ちゆういしてね。

十の位の計算は「 $3 - 1 = 2$ 」になるよ。



一の位

$$17 - 8 = 9$$

十の位

$$3 - 1 = 2$$

$$\begin{array}{r} 47 \\ - 18 \\ \hline 29 \end{array}$$

だから、 $47 - 18 = 29$ になるよ。



ひっ算の くり下さがりの かきかた

「くりさがり」のある ふたけたの数の引き算の しくみはわかったかな。でも、十の位から「10のかたまりをもらった」とか、一の位と十の位の引き算を べつべつに かんがえていたら、ちょっと ややこしいよね。

「くりあがり」の足し算をするときに、筆算をすると わかりやすかったように、「くりさがり」の引き算でも、筆算がとても べんりなんだ。

それでは、「くりさがり」のある引き算の筆算の書き方を かくにんしよう！

もんだい

・ $52 - 35$ を 計算しましょう。

まずは、位を たてに そろえて書こう。そして、 計算の じゅんばんは一の位からだ。

ここまでは いままで がくしゅうした ひっ算と おなじだね。

一の位の引き算は、「 $2 - 5$ 」だから計算が できないよ。

だから、十の位から 1くり下げて、「 $12 - 5$ 」に してしまおう。

このときに、くり下げたことを わすれないように、「2は12になる」、「5は4になる」と いうのを 書いておこう。



$$\begin{array}{r} 52 \\ - 35 \\ \hline \end{array}$$

筆算のポイント

- ・たてをそろえる
- ・一の位から計算

一の位から計算だけど
2-5はできない

$$\begin{array}{r} \cancel{5}^4 2 \\ - 35 \\ \hline \end{array}$$

繰り下がり

- (一の位) 2 → 12
- (十の位) 5 → 4

すると、一の位の引き算は、12-5なので 7だね。

十の位は繰り下げをしたから 4-3になるんだよ。5-3じゃないから注意だね。

そうすると、4-3=1になるね。

なので、52-35=17が 答えだよ。

$$\begin{array}{r} \cancel{5}^4 2 \\ - 35 \\ \hline \end{array}$$

一の位
12-5=7

$$\begin{array}{r} \cancel{5}^4 2 \\ - 35 \\ \hline 17 \end{array}$$

十の位
4-3=1



まとめ

引き算の計算をするとき小さい数から大きい数を引くことはできないよ。

ひっ算の計算で そのような できない計算が でてきたら、「くりさがり」を かんがえよう。

「くりさがり」は、十の位から10のかたまりを1つ分だけ もらうこと だったね。

そして、筆算のときは かわった数字を わすれないように小さくかいておくと いいよ。

この くり下がりの 引き算は なれるまで何度なんども れんしゅうを しよう！

繰り下がりのある 引き算の ひっさん まとめ

- ・ 計算の じゅんばんは いままでと同じ
- ・ 引けない計算が 出てきたら 繰り下がりをする
- ・ 十の位から 1だけ もらい、 わすれないように 変わった数字を 書いておく

